

人づくり・地域づくり関係職員等研修講座（盛岡地区）

職員研修
有志指導者研修
要請研修

地域課題の把握と課題解決につながる実践的な知識・技能の習得と人財育成について考える機会として実施しました。いちのせき市民活動センター センター長兼NPO法人レスパイトハウス・ハンズ理事の小野寺 浩樹 氏を講師に、19名が学びました。

【講義・演習】

「地域課題への青年層を中心とした実践的取り組み」 ～持続可能な地域社会を創るために～



小野寺 浩樹 氏

講師の小野寺氏から、「地域課題への青年層を中心とした実践的取り組み～持続可能な地域社会を創るために～」と題して、講義・演習のご指導をいただきました。「これまでの普通が普通ではなくなる、社会の中に未知のものがたくさん生まれる。未知に対して、考えて行動する力がこれからの社会では求められるようになり、地域運営の転換期である」ということから、社会教育の必要性、公民館の存在意義、自治力向上のための現代版社会教育への挑戦（脱生涯学習）について話されました。

講義から新しい視点を得た受講者は、①なぜ、若者の参加は必要なのか、②若者の参加のために取り組むこと、についてグループワークで情報交換しながら考えを深めていきました。そして、最後には「社会教育に携わる者として、明日から頑張ること」をA4用紙に書き、グループで決意表明をしました。



グループワークで考えを深める



明日から頑張ることの決意表明

《受講者の声》

- ・コミセンや公民館の位置付け、社会教育を行う意義を理解できました。実践につなげていきたいです。
- ・若者の参加の方法についての多様な視点、行政がやっていかなければならないことを学ぶことができました。地域の特色によって、行政が行うべき仕組みづくりを構築していくことが重要だと感じました。
- ・自分の町でも、まちづくりには、かなり取り組んでいます。町民が取り残されている感じが強いと思っていました。今日の研修を受けて、その原因等が分かり、進んでいくべき方向が見えました。

《受講者の評価》

A（有意義）	100%
B（どちらかといえば有意義）	0%
C（どちらかといえば有意義でない）	0%
D（有意義でない）	0%

《担当者（佐々木）から》

地域づくりの拠点としての公民館の存在意義は、とても大きいと感じました。参加したみなさんが、持続可能な地域社会を創るための新しい視点を学ぶことができたのではないかと思います。